

助産師教育の 現状と課題

看護師になる道が多岐にわたっているのと同様に、助産師になるのにもさまざまな課程があります。看護教育の4年制化推進の影響もあり、大学の専攻科や大学院で学ぶコースが増えていますが、まだまだ専門学校の助産課程の存在感も薄れてはいません。

進学者の経済的背景がさまざまで、それに応えるべく資格取得への道がまたさまざまであっても、助産師になりたいと思うモチベーションの高さは同じであり、そのために学ばなくてはいけないことも同じ。ならば、それぞれのコースの特徴はどのようなものなのでしょうか？

今回の特集は、看護教育のなかでも専門性が高いといわれる助産師教育が現在抱えている問題と今後の展望について、さまざまな課程の筆者に分析・提言していただき、助産師教育の現状を、直接それにかかわらない教員にも知っていただくように組まれたものです。

最も歴史のある「専門」看護師である助産師の教育を知ることで、今後の卒業生の進路選択の参考にしていただければと願っています。